



YELL

エール
第45号

那須教育事務所ふれあい学習課
〒324-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9
Tel: 0287(23)2177 FAX: 0287(23)2193
Mail: nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

Vol. 45 平成29年1月

～明けましておめでとございます～

新しい年が明けたと思ったら、あっという間に1月中旬になろうとしています。今年
は酉（トリ）年です。「酉」には「果実が極限まで熟した状態」という意味があり、そこ
から、物事が頂点まで極まった状態が酉年である、という一説があります。仕事等で結果
や成果が得られ、充実した一年になることを御祈念申し上げます。



さて、今号では、昨年11月に行いました、那須地区社会教育主事有資格者ステップアップ研修について御
報告します。研修当日は、社会教育主事有資格者教員・地域連携教員46
名、行政・公民館職員10名、地域コーディネーター9名の参加がありま
した。まず、「学校と地域の連携」というテーマで演習を行い、その後、
筑波大学名誉教授 門脇厚司先生より、「社会力を育てる～掘り起こせ地
域の教育力～」というテーマで御講話をいただきました。

講話では、「我が国の子供の何が変わったのか」という切り口から、「子
供の社会力を育てるために何をすべきか。」など、門脇先生が平成28年
3月まで教育長を務めていた、美浦村の取組事例等を交えながらお話し
くださいました。この講話から、社会教育主事有資格者や地域活動実践
者として取り組むべきことについて、新たな視点を示唆していただくと同時に、「子供たちに社会力を育てる
ことの大切さ」を改めて確認することができました。参加者からは、「社会力を育てることの重要性やその方
法、理論について勉強になった。これを具体的に、自分たちの学校や地域にどう生かしていくかが課題である。」
や「美浦村のように、行政・地域・管理職・教員の思いが一つになると、地域連携活動は熱い活動になると感
じた。」などの感想が寄せられました。

子供の社会力を育てるために

- 子供の本当の友達は大成人であることを再認識すること。
→多くの大人と関わることで、社会力が育ちます。
- 多様な他者と適切に応答できる能力こそ高度な能力であることを認識すること。
→この能力をフルに稼働させることで、社会力のおおもとである他者への関心と愛着と信頼感が培われます。
- 地域で、大人たちが徹底して子供と応答（交流・協働）する機会や場や時間を多くすることに努めること。
→地域の大人たちとの交流が密であるほど、子供たちの「知的社会性」と「ふるさとへの愛着」が高まります。

学校と地域が連携・協働することは大切なんだな。



社会教育主事の紹介

氏 名：月井 浩幸
勤 務 先：なす高原自然の家
職 名：副主幹



メッセージ：今年度より、なす高原自然の家へ赴任しました。私が主催した事業は、登山やハイキングを主とした「エンジョイネイチャー①②③」と家族でのふれあい活動を目的とした「わくわく体験デー①②」でした。その他、受入事業や団体指導、広報活動等を更に発展させていこうと考えています。今後とも、「ウィンディなす」をどうぞよろしく願いいたします。



今、地域や学校でできる具体的な連携・協働の方法を語り合しましょう。

平成28年度 那須地区ふれあい学習 ネットワークのお知らせ

日 時 平成29年2月3日（金）
14：00～16：00
(13：30～受付)
会 場 那須塩原市三島ホール・公民館
テーマ

「20年後 オラがまちは だいじなんけ？」
～地域を担う子供たちを育てるために
今 地域や学校で できること～